

# 将来の夢や目標を実現するために どのくらいのお金が必要か ご存じですか？

卒業/就職、結婚、出産/育児、住宅購入、子どもの進学...

これから皆さんが歩いていく人生において、

様々なライフイベントが待ち受けています。

そして、そのイベントごとで、どうしても必要になってくるのが「お金」です。

その必要なお金を「上手に貯めていく」ためには

「お金を上手に使う」ことがポイントになります。

例えば、ローンを利用する場合でも、「上手に借りて上手に返す」と

「何気なく借りて何気なく返す」のでは、大きな差が出ます。

また、あらかじめ「保険」に加入しておくことで、病気や事故、

自然災害などのアクシデントにあった時に備えることができます。

お金は「自分が働いて稼ぐ」ということだけでなく、

お金の「上手に働いてもらう」ことで、

自分の将来の夢や目標を実現することに繋がっていきます。

まずは今後の様々なライフイベントで、

どのくらいのお金が必要になるのかといったことを

理解したうえで、お金に関する基本的な知識を

身につけていくことが大事です。



ここで...

“ライフステージ”に関連した数字クイズ！

**Q1** 2019年時点の平均初婚年齢は？

A. 夫28.5歳 妻26.3歳 B. 夫31.2歳 妻29.6歳

**Q2** 2018年時点の第一子出産時の妻の平均年齢は？

A. 30.7歳 B. 33.7歳

**Q3** 2019年時点の首都圏の新築マンション(70㎡)の  
価格は平均年収の何倍？

A. 10.59倍 B. 8.19倍

**Q4** 幼稚園から高校までの15年間の教育費。  
どっちがオール公立？

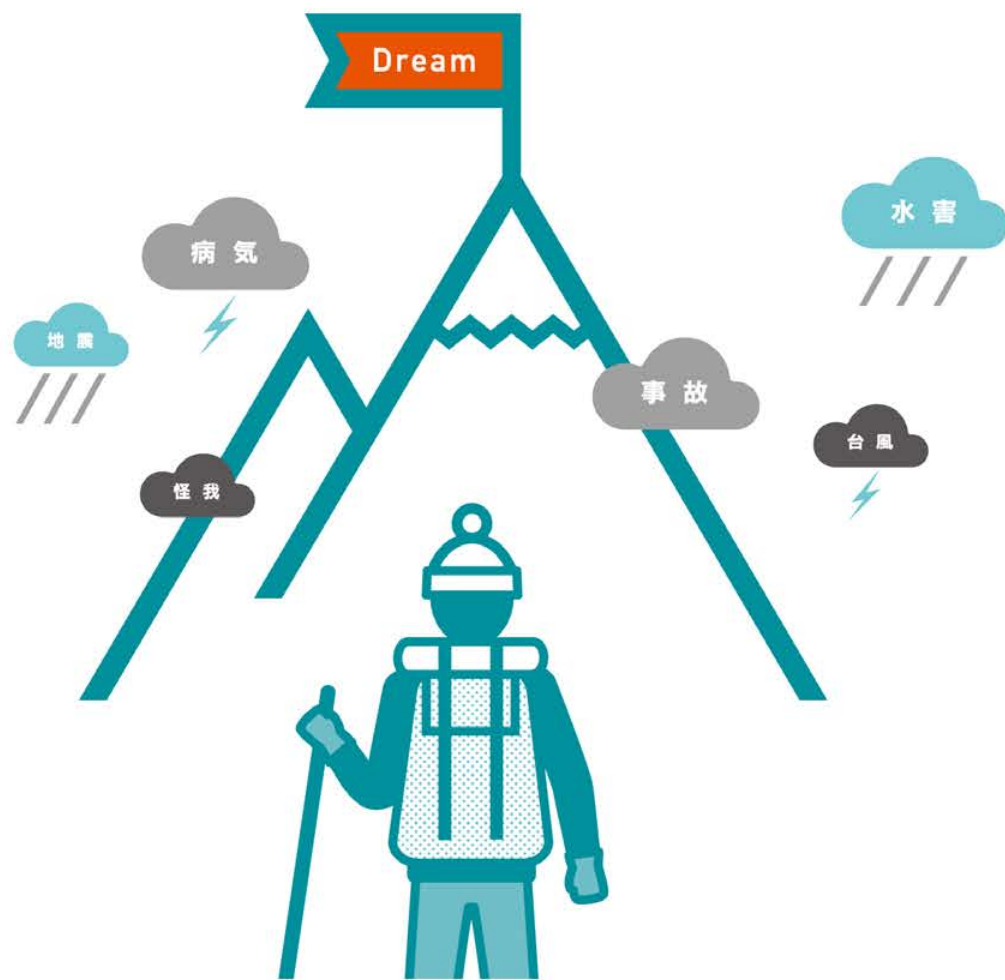
A. 約541万円 B. 約1,830万円

正解

[ Q1 ] B(人口動態統計月報年計:概数) Aは1995年 [ Q2 ] A(令和2年版 少子化社会対策白書) Bは第三子

[ Q3 ] A(株式会社東京カンテイ) Bは全国平均 [ Q4 ] A Bは私立(文部科学省 平成30年度 子供の学習費調査)





## 「お金に関する知識」は 登山における“装備”です。

よく「人生、山あり谷あり」といわれますが、人生を「登山」に例えると、「収入」は“登山靴”のようなもので、「貯蓄」は“水筒”のようなもの。「保険」はいざというときの“無線”のようなもので、「お金に関する知識を身につける」ということは、すなわち「登山の“装備”を身につける」ということだといえます。

これからの「登山＝人生」において、これらの“装備”を身につけることにより、どのような条件の山道や天候でも、適切に対処できるようになります。そうすれば、より早く「登頂＝将来の夢/目標の実現」に繋がり、「人生100年時代」において、充実した日々を過ごすことができるでしょう。





## お金には 5つの“役割”があります

お金には大きく5つの役割があります。

その5つの役割とは「使う・送る（消費/送金）」「貯める（貯蓄）」  
「借りる（借金）」「殖やす（投資）」「備える（保険）」です。

「使う・送る」「貯める」は、すでに皆さんが  
日頃の生活でよく利用している役割ですが、  
今まで馴染みのなかった「借りる」「殖やす」「備える」  
といった役割も上手に活用することにより、  
将来の夢や目標を実現することができたり、  
様々なリスクに備えたりすることができます。

この冊子ではこれらの役割をもつ、  
6つの金融サービスの基本的な情報をご紹介します。

使う 借りる	クレジットカード P7-8	借りる	ローン P9-10
使う・送る	送金・決済 P11-12	貯める	預金・貯金 P13-14
殖やす	資産運用 P15-18	備える	保険 P19-20



使う

借りる

# クレジットカード

クレジットカードは、その場で現金決済するのではなく、一定の信用を持っていることを前提としたスマートな決済手段です。クレジットカードで支払うと、銀行口座からの引き落とし(実際の支払い)は、将来に先送りすることができます。

## 所有するには「信用度」がポイント!

クレジットカードを所有するには、職業や年収などの審査が行われ、「信用度」に応じて利用限度額が決まります。また、その後も、年収や支払実績、利用状況に応じて利用限度額が変わることもあります。

## 利用者のメリットは?

- merit 1** クレジットカードの決済は「後払い」方式になるため、支払いまでの時間的な余裕ができるほか、ショッピング、通信費、水道光熱費などの日常の支払いをまとめて一元管理ができます。
- merit 2** 支払うカードを1枚に集約すると、より多くのポイントを貯めることができ、欲しい商品やサービスと交換できる楽しみが得られます。
- merit 3** カードによっては「旅行保険」や「動産総合保険」などが付保されていたり、不正利用された場合の損害を補償する仕組みがあるなど、生活の利便性や快適性が高まります。

## ⚠️ クレジットカードを活用する際の注意点

### ◀ 支払方法

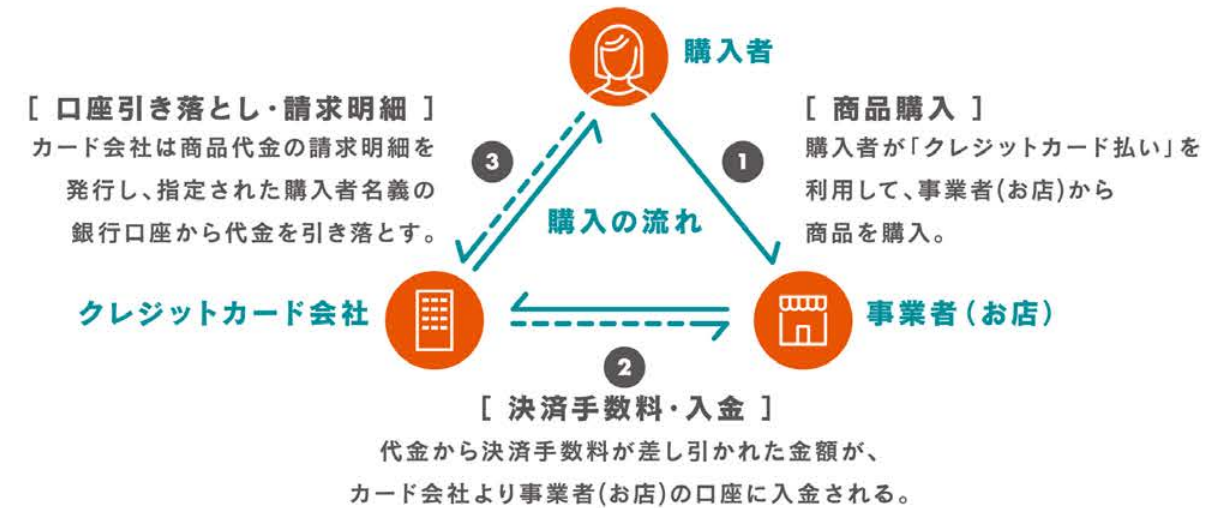
クレジットカードには、一括払い/分割払い/ボーナス一括払い/リボ払いなどがあります。分割払い(3回以上)やリボ払いの場合、利用代金に対して一定の手数料を上乗せして支払うことになります。

### ◀ キャッシング

クレジットカードには「キャッシング」という「お金を借りる機能」がついています。ショッピングと同様に借入限度額が設定されており、返済するときには借入額に加えて、一定の手数料を上乗せして支払うことになります。

## 決済の仕組みは?

例えば、クレジットカードを使用してお店に代金を支払う場合、購入者/クレジットカード会社/事業者(お店)の3者の関係と購入の流れは、以下の図のとおりになります。



**事業者(お店)のメリット** クレジットカードの加盟店になるための審査を通過したという「信頼」が得られるほか、「販売代金の回収リスクを軽減できる」「現金の持ち合わせがないお客様にも販売できる」「より高額の商品を販売しやすくなる」などのメリットがあります。

## 他のカードとの違いは?

クレジットカードのほかに、カードには「デビットカード」や「プリペイドカード」があります。クレジットカードは後払いのため「信用度」の審査がありますが、プリペイドカードやデビットカードには審査はありません。それぞれの特徴を理解して上手に使い分けましょう。

### ◀ デビットカード

銀行のキャッシュカードなどについている機能の1つであり、デビットカードで代金を支払うと、即時に口座からその代金が差し引かれます。また、原則、預金残高を超えて利用することはできません。

### ◀ プリペイドカード

カード購入時に代金を支払う「前払い」方式で、クオカードなどの磁気型、ICチップ型、サーバ型などがあります。交通系ICカードは、事前に現金をチャージして利用する「前払い」方式ですが、クレジットカード機能がついている場合は「後払い」となります。



# ローン

資金が不足する場合や、資金の準備が間に合わない場合に、必要とする資金を調達する契約を「ローン」といいます。調達した資金は、契約で定めた期間、金利(手数料)、返済方法に応じて、定期的に、またはまとめて返済します。

## ローンの種類は様々

### 奨学金

奨学制度に基づき学生を援助するために、貸与または給付されるお金/制度。大きく分けて「貸与型」と「給付型」の2種類あります。「貸与型」はローンの一種で、卒業後、返済(返還)する必要があります。

### カードローン

クレジットカードのページで触れた「キャッシング」は、ローンの1つ。カードローンの利用手数料とは「金利」のことを指します。

### 住宅ローン

マイホームを購入する際に利用します(通常は最長35年の範囲内)。高額で長期の返済となるため、購入した土地や建物は、金融機関に担保として提供します。支払う金利も低く設定されるメリットがある反面、契約通りに返済できない場合、土地や建物を手放すこととなります。

### 教育ローン

高校/大学/専門学校などに進学する際の入学金や授業料が不足するときに利用します。国(日本政策金融公庫)が実施する教育ローンや、銀行や信用金庫などの金融機関から借りる教育ローンなどがあります。

## 「金利」は“固定”と“変動”の2種類

### 固定金利

契約で決めた金利が返済終了まで変わりません。

### 変動金利

契約で決めた金利は経済状況に応じて変動します。金利が上がれば返済額は増え、金利が下がれば返済額は減ります。

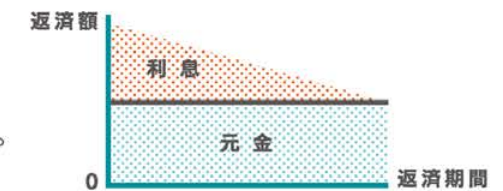
## その返済方法は？

### 元利均等返済

毎回の返済額(利息と元金を合計した金額)が一定になる返済方法です。

### 元金均等返済

毎回の元金部分の返済額が一定になる返済方法です。返済開始当初の返済額は多くなりますが、徐々に減少します。



参考：返済額早見表

100万円を借りた場合の元利均等返済による毎月返済額

	3年	10年	30年
3%	29,081円	9,656円	4,216円
10%	32,267円	13,215円	8,775円
15%	34,665円	16,133円	12,644円

※出典：住宅金融支援機構HPの住宅ローンシミュレーションで筆者試算

100万円を金利15%という条件で3年で返済する場合の支払総額は約125万円(34,665円×36か月)、10年の場合は約194万円(16,133円×120か月)になります。このように、長い期間で返済すると、毎回の返済額は少なくなりますが、金利がかかる分、返済の合計額は多くなります。

## ⚠️ ローンを活用する際の注意点

### 金利水準

住宅ローンなど金融機関に担保を提供するローンは金利が低くなりますが担保を提供しないカードローンなどは金利が高くなります。カードローンやリボ払いを利用するときには必ず手数料を確認しましょう。

### 支払遅延

契約した期日までに返済できない場合、想定外の支払(遅延損害金)の負担が発生したり、支払の遅れが続くと、信用情報機関に「延滞情報」が登録されます。その場合、カードが利用できなくなったり、新たなローンを借りることができなくなる可能性があります。

### 支払能力

分割払いやリボ払いは毎月の返済額が少ないため、気づかないうちに利用残高が多くなりがちです。支払能力に合わせた利用を心がけ、借りすぎには気をつけましょう。

### 借金の借金

借金を返済するために借金をすると、借金は加速的に増加します。借金の返済が苦しくなったら、すみやかに、金融機関などに相談しましょう。



# 送金・決済

離れた相手にお金を送ることを「送金」といい、最近ではパソコンやスマホから銀行振込をする「インターネットバンキング」や、「モバイル送金サービス」が多く利用されています。また、商品/サービスを利用する際、その代金を支払うことを「決済」といい、その手段には「現金払い」「クレジットカード払い」「コード決済(QRコード/バーコード)」などがあります。

## 決済手段ごとの違いは？

### 前払い

商品・サービスの利用前にあらかじめ支払うサービス。ネット上、ATM・店頭レジなどでチャージしたり、プリペイドカードを購入します。

### 後払い

商品・サービスの利用後の支払いとなるサービス。クレジットカードの場合、決済時に支払方法を選択し、後日、クレジットカード会社からの請求に基づき支払います。

### 即時払い

商品・サービスの利用と決済が同時のサービス。決済と同時に銀行口座から引き落とされます。原則、銀行口座の残高の範囲でしか利用できません。

## 「QRコード決済」はどの仲間？

店頭のレジでQRコードをスマホのカメラで読み取って支払う、またはスマホのアプリにQRコードを表示し、店頭のバーコードリーダーで読み取って支払う方法を「QRコード決済」といいます。クレジットカードの決済を利用するタイプ(後払い)や、あらかじめチャージして利用するタイプ(前払い)があります。



## 送金・決済の注意点

### 振り込め詐欺

最近では「現金を郵送させる/受取りに来る」「銀行口座と暗証番号を教えてもらう」「キャッシュカードを送らせる/受取りに来る」など、手口が多様化しています。詐欺の被害に遭わないためには「口座番号と暗証番号は教えない/話さない」「キャッシュカードは手放さない」ことが大切です。また、被害に遭ったのでは？と思った場合は、すみやかに警察と金融機関に届出をしましょう。



### 個人情報の漏洩

スマホやキャッシュカードの紛失/盗難や、メールを介した電子機器のウイルス感染などによる情報の漏洩のリスクは誰にでもあります。これらの予防対策として「他人からはわかりにくい暗証番号を使う」「知らない発信先からの電話/メール/SNSに反応しない」「紛失/盗難の際はスマホ/キャッシュカードの利用停止手続きをする」などが効果的です。



### 手数料

銀行の振込手数料、外国通貨に換える際の為替手数料、クレジットカードの分割払い、リボ払いなど、決済サービスによっては、商品やサービスの代金とは別に手数料がかかる場合があります。



### 決済サービスの分散

決済サービスを1つの銀行やスマホに集中すると、便利である反面、キャッシュカードやスマホを紛失/盗難に遭った場合や、スマホが故障した場合に、非常に不便になる可能性があります。その対策のキーワードは「複数」。「複数の銀行」「複数のクレジットカード」「複数の決済サービス」を利用するなどが効果的です。





貯める

## 預金・貯金

銀行や信用金庫、農協/漁協などの金融機関にお金を預けること。  
銀行/信用金庫では「預金」といい、郵便局(ゆうちょ銀行)や農協/漁協では「貯金」といいます(以下「預金」)。

### なぜ「預金」をするの？



受取/送金/  
決済のために

給料や年金の受け取り、家族間の送金、水道光熱費の口座振替、クレジットカードの支払いなどに利用することができます。



利息を  
もらえる

預金/貯金は「預ける」「貯める」と書きますが、正確には銀行などにお金を「貸す」ことになるため、一定の利息を受け取ることができます。



金庫代わりに

自宅に現金を保管している場合、火災により焼失したり、盗難の被害に遭うリスクがありますが、預金をすると、このリスクを回避/軽減することができます。

### 口座を開設するには？

以前は金融機関の窓口に向いて手続きを行う必要がありましたが、最近ではインターネットやスマホアプリを活用して、運転免許証/健康保険証/マイナンバーカードなどの本人確認書類の画像を添付することで、手続きができるようになりました。  
また、最近では、店舗を持たない「ネット銀行」も増えています。



### 預金の種類は？

**普通預金** いつでも預け入れ、払い戻しができる預金。すぐに引き出すことができる点で便利です。

**定期預金** 一定期間、期間を定めて預ける預金。期間は通常1カ月以上10年以内で定められ、金利は普通預金に比べて高く設定されます。総合口座で定期預金を預けていると、普通預金の残高が不足している場合でも、定期預金を担保にして、一定金額まで普通預金残高がマイナスになっても引き出すことができます(当座貸越)。

**外貨預金** 日本円以外(米ドル/ユーロ/豪ドルなど)の通貨での預金。  
日本円よりも高い金利がつく通貨に預けると利息収入が多くなります。  
また、日本円と比較して預けている外国通貨の価値が高い(外貨高円安)と、利益(為替差益)が得られますが、外国通貨の価値が低い(外貨安円高)と、損失(為替差損)が発生します。

### 計画的に貯めるために 活用したい“財形貯蓄”

勤務先を通じての給与天引で行う「貯蓄制度」。自分であらかじめ定めた金額が毎月の給与、賞与から差し引かれるため、計画的にお金を貯めることができます。マイホーム購入目的の「財形住宅貯蓄」、老後資金目的の「財形年金貯蓄」、特に目的を定めない「一般財形貯蓄」の3種類あります。



### “72の法則”をご存じですか？

保有資産が2倍になる期間と利率の関係を「運用利率×運用年数=72」の式で表すことができます。例えば、普通預金の金利0.001%で運用する場合、保有資産を2倍に殖やすためには、約72,000年かかります。一方、1980年代の定期預金や定額貯金の金利が7%程度のときは、約10年で保有資産を2倍に殖やすことができました。

預金はお金を貯めるための道具、  
お金を殖やすには別の方法も必要です。

$$\text{Rate} \times \text{Period} = 72$$



## 資産運用 ①

お金や株式、土地などの金銭的な価値を有する財産を「資産」といい、預貯金、債券、株式、投資信託、不動産、金などで運用することにより、効率的に資産を管理することを「資産運用」といいます。

### 資産運用の必要性やポイントは？

貯める場合に比べて殖やす場合には、より大きなリスクがあります。そのリスクを理解して、許容できるリスクの範囲内で取り組むことが大切です。

元本保証がある預金も「預け先の金融機関が破綻するリスク」や「物価が上昇した場合に買えるものが少なくなるリスク」があります。株式投資では、投資先の会社の業績悪化や、不祥事による信用失墜などにより「株価が大きく下がるリスク」があります。

日常的な生活費や近い将来使う資金は、物価が上昇した場合のリスクを受け入れて、資産が減らないようにして（安全性優先）、中長期で準備する資金は、リスクを分散したり、リスクと付き合いながら、景気の変動に合わせて運用することが重要です（収益性優先）。



### “単利”と“複利”とは？

「単利」とは当初の元本にのみ利息がつくことで、「複利」とは元本だけでなく利息にも利息がつくことをいいます。短い期間で比べると小さく見える差も、10年、20年で大きな差となります。

毎月3万円を  
年利3%で積み立てた  
場合（税引後）

※出典：日本銀行HPで筆者試算

	10年	15年	20年
積立額	3,600,000円	5,400,000円	7,200,000円
単利	4,033,966円	6,373,734円	8,928,692円
年複利	4,065,127円	6,487,525円	9,213,725円
差額	31,161円	113,791円	285,033円

### 資産運用の 種類や方法は？

#### 個人向け国債（金利収入）

国が資金調達のために発行する債券を「国債」といいます。そのうち、個人が額面1万円単位で購入できる国債を「個人向け国債」といい、3年満期/5年満期/10年満期の3種類あります。

#### 株式（配当/値上がり益/株主優待）

企業が発行する株式を購入し、購入した持分だけ会社のオーナーになります。会社の売上や利益などに応じて株価が変動し、値上がり益も狙える一方、値下がりによる損失を被る可能性もあります。その会社の業績に応じて、利益の分配（配当）を受けることができ、企業によっては、自社の商品/サービスの進呈/優待券/割引券などの株主優待を実施するところもあります。

#### 預金（金利収入）

銀行などに預けます。安全性は高いものの、現在は金利が低いため、大きく殖やすことは難しいといえます。

#### 投資信託（分配金/値上がり益）

投資家から集めたお金を、運用のプロである運用会社が債券/株式/不動産などに投資します。運用成果に応じて投資家に利益（損失）が分配され、元本保証はありません。債券などを中心に運用するリスクを抑えたタイプから、株式や不動産などを中心に運用し、積極的にリスクをとり、大きな利益を狙うタイプまで多種多様です。

#### 金（値上がり益）

債券/株式/通貨は、それぞれに与えられる一定の「信用」のもとに価値を有するのに対し、金は「金」自体に価値があります。また、金には利子も配当もつきませんが、希少価値があります。「有事の金」といわれるように、政治的不安/経済的不安/社会的不安が高まると注目が集まります。

#### 不動産（賃料/値上がり益）

マンションやビルなどを購入し、他人に貸し出すことで、賃料収入を得ることができます。高額投資になるため、一般的に自己資金に借入金を組み合わせて投資します。賃料は安定的な収入となりますが、一方で、空室対策、建物や設備の更新など、経営的な感覚も求められます。



## 資産運用 ②

資産運用における「リスク」とは「損失」ではなく、不確実性のことをいいます。

不確実性を小さくする方法を取り入れると、より安定した資産運用に取り組むことができます。

### 資産運用の考え方

「どのような資産運用にもリスクがあり、そのリスクを理解して、許容できるリスクの範囲内で取り組むことが大切」といわれても、損失を恐れて、なかなか資産運用の最初の一步を踏み出すことができない人も多くいます。

自動車の運転では「適度な速度で、周囲に気をつけながら、時間に余裕をもった安全運転をすること」でリスクを小さくすることができますが、同じように資産運用にもリスクを小さくする方法があります。



資産運用で大きな損失を被る主な原因は「集中投資をする」「高額な投資をする」「短期で儲けようとする」ことです。言い換えれば、「分散して」「少しずつ積立」「中長期で取り組む」ことで、リスクを小さくすることができます。

### 分散投資の例

#### 資産（銘柄）の分散



特性の異なる  
複数の資産を組み合わせる

#### 地域の分散



複数の地域や通貨を  
組み合わせる

#### 時間（時期）の分散（積立投資）



※リート：不動産に投資し、賃料や売却益などが分配される投資信託（Real Estate Investment Trust=REIT）。

### 分散

資産の分散、地域の分散、通貨の分散、購入時期の分散、売却時期の分散など、分散することでリスクを小さくすることができます。

### 少しずつ積立

金額を少なくすることでリスクを小さくします。

また、投資時期を分散することで、高いときにまとめて買うリスクを回避します。毎回、同じ金額を積み立てる場合、高いときに買える量は少なくなり、安いときに買える量が多くなるため、結果的に購入単価が低くなります。

### 中長期で取り組む

資産運用では、短期的には大きな値上がりで利益が狙える一方、急激な値下がりでの損失を被る可能性があります。中長期で取り組むと、年平均のリスクは小さくなり、複利効果を味方につけることができます。

### 資産運用で活用したい制度

資産運用は「生活資金」「近い将来使う資金」とは別の「余裕資金」で行いましょう。資産形成において特に注目されている制度が「iDeCo」（個人型確定拠出年金）や「NISA」「つみたてNISA」です。

	目的	概要
iDeCo （個人型 確定拠出年金）	老後資金	所得税、住民税の節税効果を味方にして、毎年（毎月）、預金、投資信託などを積み立てる制度。原則、60歳まで引き出すことができません。
NISA	余裕資金など	投資した株式や投資信託の値上がり益、分配金（配当金など）は最長5年間、税金がかかりません（本来、約20%課税）。年間120万円（2024年以降は最高122万円）まで投資することができます。
つみたて NISA	マイホーム購入頭金、結婚資金、進学資金、老後資金など	長期・積立・分散に適した投資信託を定期的に積み立てる制度。値上がり益、分配金は最長20年間非課税（本来、約20%課税）。年間40万円まで投資することができます。

※いずれも20歳以上が利用できますが、2023年から「NISA」「つみたてNISA」ともに、18歳以上から利用できるようになる予定です。



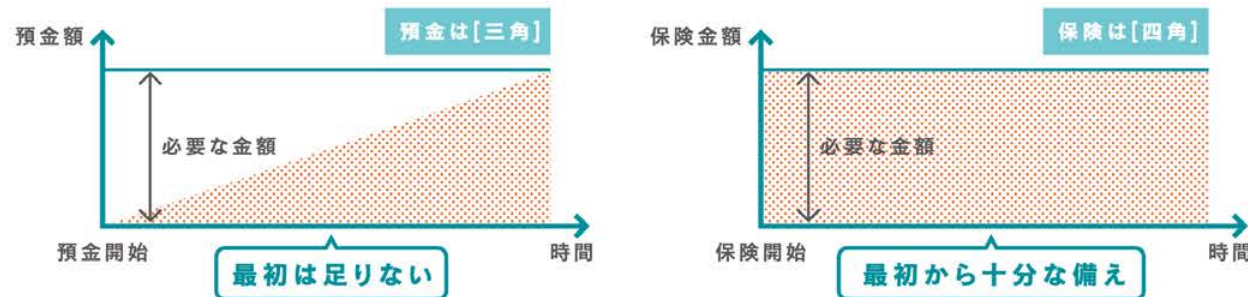
備える

# 保険

病気や事故、地震や豪雨など、思わぬ出来事によって生活に大きな影響が出ているといったニュースを見たことはありませんか？こういった様々なリスクに対して備えたい人が集まり、お金(保険料)を出し合うことで、大きなお金を準備する手段を「保険」といいます。

## 「預金」と「保険」の違いは？

「預金」も将来のリスクに対して備えるための手段ですが、少しずつ殖やす手段であるため、十分な備えをするには時間がかかってしまいます。



## 保険は大きく分けて[生命保険]と[損害保険]の2種類

1

### [生命保険]…主に「ヒト」に関わるリスクに備える保険

#### 死亡保険

保険の対象者が死亡した場合、遺族に対して保険金が支払われます。葬式費用や遺族の生活費/教育費などに備えます。

#### 医療保険

保険の対象者が入院/手術などをした場合、契約で定めた給付金が支払われます。高額な入院費や治療費に備えます。

#### がん保険

保険の対象者が癌(がん)と診断されたり、入院/手術した場合、契約で定めた給付金が支払われます。

#### 介護保険

保険の対象者が認知症や寝たきりとなった場合、契約で定めた一時金や年金が支払われます。介護用品やヘルパー費用の支出に備えます。

2

### [損害保険]…主に「モノや財産」に関わるリスクに備える保険

#### 火災保険

建物や家財が、火災/破裂/爆発/落雷/風/雪/水害などにより一定の損害を受けた場合、契約で定めた保険金が支払われます。

#### 地震保険

建物や家財が、地震/噴火/津波を原因として、火災/損壊/埋没/流失による損害を受けた場合、保険金が支払われます。火災保険に付帯して申し込みます。

#### 自動車保険

自動車を運転中に他人の身体・財産に損害を与えた場合の損害賠償を補償する保険(対人/対物賠償保険)、自動車事故における自分の傷害を補償する保険、自分の自動車が受けた損害を補償する車両保険などを組み合わせて契約します。

#### 自転車保険

自転車運転中の自分の傷害、自転車の運転により他人の身体や財産に損害を与えた場合の損害賠償を補償します。従来、加入は任意となっていました。自転車事故の増加などにより、加入義務を課す地方公共団体が増えています。

## 保険の選び方のポイントは？

### ライフステージにあった保険を選ぶ

- 独身で病気のときの高額な医療費が不安であれば「医療保険」を優先
- 万一の場合の家族の生活費や子どもの教育費が不安であれば「死亡保険」を優先
- 子どもが大きくなり、死亡保障よりも医療費や介護費用が不安であれば「医療保険」や「介護保険」を優先…など、ライフステージに応じて必要な保障は変わるため、適宜見直しが必要になります。

### 収入/預金では手当が難しい部分を保険で手当する

残された遺族の生活費、病気/災害/事故による治療費、長期にわたる介護費用、地震や豪雨などの自然災害による財産の損失、事故を起こした場合の損害賠償責任など、自分の人生に大きな影響が出てしまうリスクに対して、保険を上手に活用しましょう。

### 加入しすぎに注意

保険料がかかるため、保険に入りすぎると、生活費を圧迫したり、お金が貯まらなくなります。必要性が高い保険(自然災害に対する保険、第三者に対する賠償リスクなど)を優先する、必要性が低い特約は付けない、毎月の貯蓄額と比較して、保険料を払いすぎているかを確認するなど、加入しすぎには注意しましょう。



# auフィナンシャルグループについて

auフィナンシャルグループは、auじぶん銀行、auフィナンシャルサービスを始めとして、スマホを中心にサービスを展開している、ネット金融グループです。  
au通信契約の有無にかかわらず、どなたでもご利用頂けます。



## 投資/資産形成

au カブコム証券    au アセットマネジメント

- 将来の資産形成のために「auのiDeCo」を提供しています。
- Pontaポイントで投資信託が購入できる「ポイント投資」を提供しています。



## 銀行

au じぶん銀行

- 預金やローンなどのサービスをインターネットを通じて提供しています。
- 預金や外貨、ローンまで、すべてのサービスをスマホで利用できます。



## 保険・年金

au 損保    LIFENET

- 自転車保険、海外旅行保険を提供しています。
- ライフネット生命を引受保険会社として「auの生命ほけん」を提供しています。



## 決済

au フィナンシャルサービス    au ペイメント

- Pontaポイントがおトクにたまる「au PAY カード」「au PAY ゴールドカード」を提供しています。
- スマホ決済サービス「au PAY」や、プリペイドカード「au PAY プリペイドカード」を提供しています。



## FP相談

au フィナンシャルパートナー

- ファイナンシャルプランナーが家計相談や資産形成の相談を承り、保険などの金融商品と知識を使ったトータルライフプランニングを提案しています。



auフィナンシャルグループは

スマートフォンを起点に

金融のあり方を人の手のひらから変えていく。

すべての人にとって、

金融をもっと身近なものにするために。

つながる金融。



発行：auフィナンシャルホールディングス株式会社

協力：株式会社 きんざい

監修：一般社団法人 金融財政事情研究会

冊子に関するお問い合わせ先：auフィナンシャルホールディングス株式会社

〒103-0027 東京都中央区日本橋1丁目19番1号 日本橋ダイヤビルディング17階

[aufh-info@au-financial.com](mailto:aufh-info@au-financial.com)



発行：2021年2月